

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 34

2011.3.16 (No.2631)

第2560地区ガバナー／東山 昕也  
会 長／樺山 仁  
会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)  
副 会 長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)  
幹 事／明田川 賢一  
S A A／若槻八十彦  
会 計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～  
例会場及び事務局／  
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
例会場／TEL 34-3311  
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/  
(〃はshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

■本日の出席会員数:54名中30名  
■先々週出席率:75.00%

【ゲスト】

- ・第4分区アシスタントガバナー 蕪澤喜一郎 様
- ・三条東ロータリークラブ会長 菅家 敏彦 様

【ヴィジター】

三条東RCより

- ・栗山正男さん、石田大介さん
- ・木村淳子さん、小出和子さん

【先週のメークアップ】

- [3.10] 三条東RCへ  
・樺山 仁さん、明田川賢一さん
- [3.10] 加茂RCへ  
・加藤紋次郎さん
- [3.15] 三条北RCへ  
・樺山 仁さん

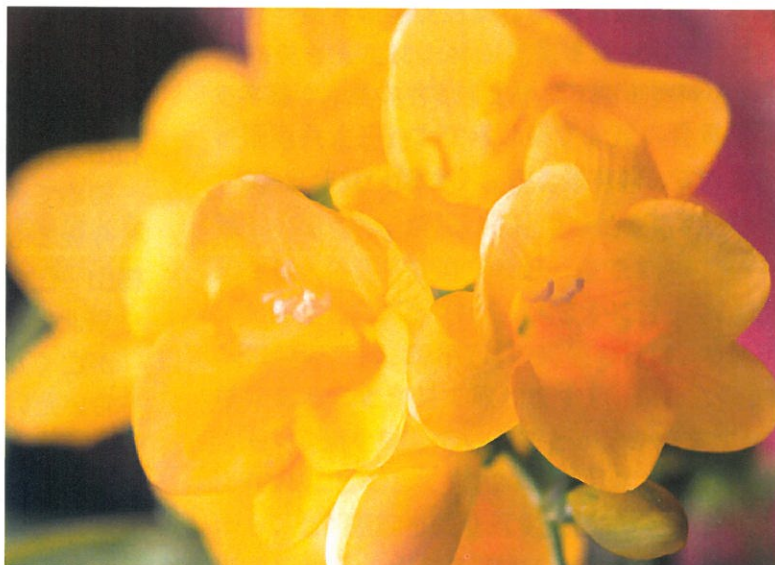


BUILDING COMMUNITIES  
BRIDGING CONTINENTS

「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ

「フリージア」



会長挨拶

樺山 仁会長

御挨拶致します。

11日の午後14時46分、東北関東大震災が起こり、マグニチュード9.0、大津波の大惨事となりました。亡くなった多くの方の冥福を祈ると共に、被害を受けられた多くの方が、少しでも早く立ち直る事が出来る様、祈るだけです。



「天災は忘れた頃にやってくる」とはよく言われたもので、左右前後にかなり長く揺れていたの、気分が悪くなっていました。まさかあの様な災害を見るにつけ、あんなにひどい被害を実際にテレビで見て、自然の力の大きさ、人間の力の無い事がまざまざと見せつけられました。

皆さん、心の中で神様にお祈りしましょう。

先日のローターアクトの地区大会も無事に終わり、青年の若いエネルギーを頂いて参りました。又、今年三条ローターアクトの創立40周年の節目の年でもありますので、周年行事に皆様に御協力願う事となりますが、その節はよろしくお願い致します。

先週の我々の例会日の次の日、地震のあった前日10日に私が東クラブへ、又15日には北クラブでの卓話にお邪魔致しまして、久しぶりの他クラブでの卓話を経験して参りました。

2月の中頃にNHKの「小さな旅」と言う番組で、三条の職人さん達の話で、三条の伝統と技術について、刃物鍛冶の方々

のお話がありましたので、その延長したお話をして参りました。改めて三条の地場を見る、いい機会でありました。皆さん興味がおありの様で、話の中で合づちを頂ける方が見られ、話しやすく終る事が出来ました。これも全てロータリーの心の表れであると、感謝する次第でした。

本日は東クラブの菅家会長さんの卓話でございます。よろしくお願ひ致します。

又、蕪澤AGの御出席で、私と同学年の三人が集まった様で、学級会の気分を楽しみます。三人共頑張っておりますので、御声援よろしくお願ひ致します。

挨拶を終わります。

## ニコニコBOX

第4分区AG 蕪澤喜一郎 様 (三条南RC)

R1第2560地区AGとしての4回目の訪問です。報告とお礼を申し上げます。

貴クラブの益々のご隆盛とご繁栄をご祈念を申し上げます。

菅家敏彦 様 (三条東RC 会長)

本日は、宜しくお願ひ致します。

ついに今日が来たかといった感じです。

石田大介 様 (三条東RC)

初めてメイクアップさせていただきました。

今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

樺山 仁さん

東北、関東大震災で大変なことが起き、大勢の方が亡くなられ、本当に残念です。早く復興してもらいたいと思います。

本日、菅家会長様の卓話に期待しております。

渡辺勝利さん

菅家東クラブ会長、卓話ありがとうございます。

東北・関東の大地震の被災者の皆様にお見舞申し上げます。

山田富義さん

東北、関東大地震で被災者のお見舞申し上げます。

東RC会長 菅家様、卓話ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

東日本大震災、大変なことで、被災地の皆様にお見舞申し上げます。

今日は東クラブ菅家会長、よろしくお願ひ致します。

佐野勝榮さん

この度の東北関東大震災に対し、お見舞申し上げます。

五十嵐浩さん

大震災、お見舞申し上げます。

中村和彦さん

都合により早退させていただきます。

菅家会長、卓話ありがとうございます。

藤田紘一さん

卓話ありがとうございます。

停電にならず、ほっとしました。

熊倉昌平さん、明田川賢一さん、近藤雄介さん、加藤紋次郎さん、会田二郎さん、五十嵐昭一さん、若槻八十彦さん、小出子恵出さん、杉山幸英さん、松永一義さん

三条東RC会長 菅家様、本日は卓話ありがとうございます。よろしくお願ひ申し上げます。

3月16日分 ￥29,000

今年度累計 ￥831,000



## 「第4回AGクラブ訪問」

よく



RI第2560地区 第4分区  
2010-11年度アシスタントガバナー

蕪澤喜一郎 様 (三条南RC)

三条ロータリークラブの皆さん、  
RI第2560地区第4分区AGとして4  
回目の訪問です。

報告とお礼を申し上げます。

1. 9月4日(土)、ワシントンホテルにて開催致しました「第4分区IM」ですが、登録者数216名、出席者数197名と充実した会合がもてましたこと、皆様のご協力に感謝申し上げます。当日は、11クラブの会長よりクラブの現状を熱くお話いただき、他クラブの活動を知る機会を得、また、和やかに進められた懇親会では年に一度集う区内メンバーとの「友絆(きずな)」が結ばれたことと思います。
2. 11月4日(木)、ガバナーのご希望で、初めての試みとして開催致しました「東山ガバナーを迎えての親睦交流会」、市内4クラブのご協力をいただき、「第四分区寄席」等の企画の下、楽しいひとときを過ごせましたこと誠に有難うございました。
3. 直前会長・会長エレクト・会長ノミニ・会長で立案会議がもたれ、「新長期目標設定プログラム作成書」を提出いただきました。この度地区よりクラブ事業推進支援金として50,000円お預かり致しましたので、この場をお借りして会長にお渡したいと存じます。
4. 各クラブでガバナー公式訪問に合わせて作成しております「現況報告書」の中のクラブ定款・細則について馬場パストガバナーより貴重なご指摘をいただきましたのでお伝え致します。貴クラブの現況報告書もそうですが、加茂RCを除いてほとんどのクラブが「クラブ定款・細則」について主だったものを掲載し、他は「国際ロータリー標準定款、細則と同文の故、省略」又「クラブ定款細則抜粋」等々、と略されています。その中でロータリークラブ定款15条は決して省略されるものではなく、必ず載せなければならないとのご指導をいただきました。

これから第4回訪問に際し、各クラブにお話したいと思います。次年度会長年度の現況報告書作成に当たっては是非ご記載をお願いします。

## ロータリー・クラブ定款15条

### 綱領の受諾と定款・細則の遵守

会員は、入会金と会費を支払うことによって、綱領の中に示されたロータリーの原則を受諾し、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。

そしてこれらの条件の下においてのみ、会員は、本クラブの特典を受けることができる。

各会員は、定款・細則の印刷物を受け取ったかどうかにかかわらず、定款・細則の条項に従うものとする。

### RI第2560地区からの情報

○RI第2560地区に「東北地方太平洋沖地震」対策本部を設置

ガバナー⇒AG⇒クラブに連絡(問題点、お困り等)

- ・栃尾RC創立40周年記念事業 3月26日(土)開催を中止 事業費等 → 義援金に
- ・新発田RCはスマイルBOX収入500万円を義援金として新発田市役所へ
- ・茨城、埼玉、盛岡の地区大会中止  
RIが認めたとの事です。
- ・福島では青少年交換学生が両親たってのご希望により帰国するとのこと。

## 卓 話

E5



### 三条東ロータリークラブ会長 菅家敏彦 様

はじめに

皆さん、こんにちは。  
ご紹介を頂きました、三条東ク  
ラブの菅家と申します。  
どうぞ宜しく、お願いいたします。

先ほどの会長さんのご挨拶にもありましたが、先ずもって、今回の地震で、犠牲になられました多くの方々の、ご冥福をお祈り申し上げるとともに、この厳しい寒さのなか、被災生活を余儀なくされている方々の、一刻、一秒でも早い復興を、心から願うものであります。

私は福島、妻は仙台の出身で、実家等皆の無事は確認できましたが家の中は、めちゃくちゃとのことでした。

相馬、松ヶ浦の地区にも多くの知人がおりますが、連絡は取れず、消息今もって、不明です。

言葉が、ありません。

さて、先般の例会でご案内をさせて頂きました、当、東クラブ主催による「小川宏さんの講演会」が、先月の18日、無事、終了することが出来たことに、高い席からではあります、改めて、御礼を申し上げたいと思います。

自分たち、東クラブの会員も含めてではありますが、約300人もの方々においでを頂いたこと、又、先生ご自身が“うつ”を経験された上でのお話には、大変、説得力もあり、内容も濃かったことなどを考えますと、まずまずの成功ではなかったかと思っております。

精神障害とされる“うつ”から自殺へと走る方々のうち、お一人でも、少なくなるよう、願うものであります。

先日は、樺山会長様には、卓話、有難うございました。

本日は、例会の貴重なお時間に、お招きを頂き、恐縮をいたしております。

樺山会長様からの、お頼みとあらば、お断りも出来ず、お引き受けした次第であります。

とはいえ、慣れない上に、歴史のある、三条クラブのロータリアンの方々の前で話をするという事で、正直、大変緊張をしております。

東クラブからは、今日の私の卓話を心配をして、幹事はじめ応援団が来てくれております。  
有難うございます。

私の、今日の卓話では、皆様にとって、お役に立つような話は、何一つ出来ませんし、ありません。

従いまして、本日は、私自身の紹介とか、私自身が直接経験した中から、恐らく、皆様には普段、余り耳にされないような事柄などを中心に、話を進めさせて頂きたいと考えております。ご容赦、賜りたいと思います。

生まれ

生まれは、昭和11年8月27日、所謂、鼠年生まれの、74歳で、8月が来れば、75歳になります。

出生地は、福島県三春町、梅、桜、桃の三つの花がいちどきに咲くことから、名づけられた町です。

滝桜でも有名なところですよ。

間もなく、父の仕事の関係で、福島市に移り、幼稚園までは、そこで過ごしました。

小、中、高は、福島県中通り地方の二本松市で過ごしました。

その後、大学からは、東京です。

8年前の平成15年、縁あって、長岡に参りまして、現在は、市内下柳というところに住んでおります。

栄町にある会社まで、凡そ16km、車で約30分の距離です。

家 族

先妻には10年前の、平成13年3月に先立たれました。享年63歳、誕生日の翌朝でした。

死因は、肺塞栓、血の塊が肺を塞いでしまった、今でいうエコノミー症候群です。

実は、亡くなる1年前、突然倒れ、千葉の救急救命センターに運ばれ、その時は、一命を取り留め、その後毎月、千葉大附属病院に通い、チェックを受けておりました。

亡くなる二日前、気分が悪いと訴えましたので、即、病院へと云いましたが、あさって、予約をしているからとの本人のかたくな言葉で、従がわざるを得ませんでした。

その時、死を予想することなど、出来ませんでした。

事実、翌日には、気分も良くなり、彼女の誕生日でもあったことから、家族で、お寿司を食べに行きました。

それが、最後の食事となりました。

翌日の朝、ベッドから立ち上がろうとした時、苦



しい、といったのが最後の言葉になり、意識が無くなりました。

病院に運ばれましたが、再び意識を取り戻すことは、出来ませんでした。

私にとって、最も悲しい、衝撃的な出来事でした。

「具合が悪くなったら、即、病院に」という事は、良く言われることですが、絶対に守るべきことと、肝に銘ずべき事だと思います。

また、普段の注意として、朝、起きるとき、いきなり起き上がらないことです。

エコノミー症候群など、現在は、広く知られるようにはなりましたが、出産された親御さんへの注意事項にもあるように、いきなり、立ちあがらないことが肝要です。

私の死生観が変わりました——、死は、怖くなくなりました。

打ちひしがれている自分に対し、仲間たちからは、このままいったら、お前も、一年持たないぞと、励まされ、仕事への復帰、それにゴルフの誘いと励まされました。

何とか、立ち直れたことができたことに、感謝しております。

現在は、縁あって、新しいパートナーと二人、それに、5歳になるトイプードルとの生活です。

子供たちは、娘が一人、息子が二人、そして孫が、男の子一人を含む三人です。

長女は、商社を経て、同じ商社マンと結婚、現在は4回目かになる夫の海外赴任で、現在、メキシコ在住。

長男は、航空会社勤務、一昨年、教官になったとのことで、親としては、結構、喜んでいます。

次男は、教師で、共に、東京に住んでおります。

家族といえば、我が家では、毎年、お正月の休み、又は娘が海外駐在の時は、クリスマス休暇にあわせて、家族全員員が集まることにしています。

両親は、お隣、会津只見の出身であります。

父は、田舎の、所謂、特定郵便局を継ぐ立場にあったのですが、一念発起、福島の産業学校に入り、養蚕の勉強をし、各地の郡役所、養蚕学校等を回り、養蚕の指導に当たっていたようです。

当時の話として、六十里越えか八十里越えかの峠を越えて、ご当地、新潟にも出かけていたとの話も聞いております。

恐らく、ここ三条の地にも訪れたかも知れません。

戦後、日本製糸協会を経て、独立、南会津をエリアとして、南会製糸という、所謂、製糸工場を起ち上げました。

その父が、工場創立当時、大変、お世話になった「福

島商工会議所の小松謙一さん」という方が、何故か、私には思いだされたのです。

当時、我が家には、スチュードベーカーとかいった流線型の米社に乗って来られたのを憶えております。

商工会議所への問い合わせ等、調べていくうちに、その小松さんと、私との間に何か因縁めいたものを感じましたので、お話したいと思います。

実は、小松さんという方は、商工会議所の会頭さんで、60年近い歴史を持つ、福島ロータリークラブのチャーターメンバーであって、そのクラブの認証伝達式が、ノートルダム修道院で行われたという事実です。

偶然ですが、そのノートルダム修道院とは、昭和16年、私の通っていた幼稚園だったのです。

現在、縁あって、ロータリアンである自分にして初めて感じ得る偶然に、何か因縁めいたものを感じたのです。

母は、民生委員等を引き受けるなど、よく、困った人たちの面倒を見る、よその人にも優しい人でした。

夏休み等、会津に帰りますと、身寄りのないというか、身を隠すというか、復員軍人さんが、家に長逗留をしているなど、当たり前、不思議な光景でした。

## 学 歴

幼稚園は、先ほど申し上げた、信夫山の麓にあるノートルダム修道院、現在の桜の聖母幼稚園です。

小、中、高は、全て、公立の学校で、これも先ほど申し上げたとおり、二本松というところで過ごしました。

国民学校3年生で、終戦を迎えましたが、その時の天皇陛下の玉音放送は、子供心にも、忘れられない記憶として残っております。

中学は、昭和25年6月25日の朝鮮事変勃発といった激動の中で育ちました。

小学校高学年から、中学まで、兄が隊長をやっていた関係もあって、ボーイスカウトにも積極的に参加し、ボーイスカウトでは、上級のクラスである菊スカウトになることが出来ました。

26年夏、中学生最後の年、蔵王で開催された全国大会、現在のジャンボリーに参加した際、最後の夜、大キャンプファイヤーの点火役に選ばれたことは、嬉しかったことで、今でも鮮明に覚えております。

そして、高校では、千恵子の生まれた故郷とか語りながら、多感な青春時代を送りました。

昭和31年、大学入学のため上京しましたが、入学後、更に、1年間の休学の後、復学しました。



実は、私は、若い頃、血の気が多かったせいか、何故か、鼻血が止まらないといった変わった病気で、高校は4年、大学は5年かかっています、合わせて2年遅れの卒業です。

その時の養生が、今の健康にも繋がっているのかも知れません。

復学後は、2年間、学生寮である昭和寮というところに入り、全国から集まった仲間たちと、楽しい寮生活を過ごしました。

体の為にも、何か、運動すべきと、選んだのが、自分では汗のかかない、楽だと思った馬術部です。

ところが、練習は、授業前の朝練、鎧なしの乗馬訓練などは、下馬した途端、足、騎座といわれる部分は、ガタガタ、それは、それは、楽、などというものではありませんでした。

部活は、高等科と一緒に、大学の部員といえば、既に、高等科で、3年間の経験がある訳で、レベルは高く、やはり、歴史のある伝統校だとの印象は強く、感じました。

部室に入って、先ず、驚いたことは、東京都大会、全日本、国体等といった大会スケジュールが黒板一杯に、書き込まれていたことです。

田舎から出て来たものにとっては、先ず、「予選を勝ち抜いてからの話だろう」と思いましたが、それぞれの大会出場は、当たり前のことだったのです。

夏の岩手での合宿、目白の馬場から、世田谷馬事公苑までの馬輸送、昭和33年(1958年)に行われた富山国体への貨車での馬輸送などは楽しい思い出となりました。

ここで、私が経験した学習院というところについて、もう少し、ご紹介をしたいと思います。

学習院という世界、特に馬術部という世界は、男女とも、初等科から上がってこられた方も多いためか、昔からの学風とかが、強く、残っておりました。

普段の学生生活の中にも、学習院ならではの習慣が見られ、正直、かなりのカルチャーショックを受けたものです。

挨拶は、御機嫌よう、有難うは、恐れ入りました。相手を指す二人称は、男子は貴様(これは、昔からのあなた様を意味し、現在の私たちの受ける感覚とは違います。)女子はこのかた等、周囲の言葉を拾っても、違いは、歴然としておりました。

事実、私が初めて「この方」と言われた時は、えっ? 誰のことと、周囲を見渡しました程です。

縁あって、結婚した妻は、亡くなるまで、私をこの方と呼んでおりました。

大学2年のとき、父が亡くなりましたので、部活動

とは一時、疎遠となりましたが、仲間たちにも恵まれ、現在もOB会等には、割りと熱心に参加しております。

昭和36年3月、学習院大学政経学部経済学科を卒業しました。

直近の、ロータリーとの関わりについていえば、昨年11月、上越で開かれた地区大会に出席した小沢国際ロータリー会長代理は、同期で、私は経済、彼は政治でした。又、講演などでみえられた徳川、第18代将軍は、39年、政治学科卒で、学年的には、3年後輩になります。

ともに、短い時間ではありましたが、学生時代のことなど、往時を偲びました。

今年8月には、その馬術部OBによる、長岡花火大会、長岡カントリークラブのツアーも計画されております。

毎年、部としては、ゴルフコンペはやっておりますが、今年は、ご当地、長岡花火大会が加わります。

昨年10月、創部130周年の式典が、天皇、皇后両陛下ご臨席のもと、東京霞会館で行われました。

たまたま、直接、お話をさせて頂く機会がありましたので、新潟国体開会式直後でもありましたので、自分は今、新潟に住んでいること、開会式のため、態々、新潟までお出ましになられたことにお礼を申し上げます。

## 職 歴

昭和36年(1961年)、大学卒業後、証券会社、現在のみずほ証券に入社、新宿、銀座支店で、株式、投資信託の売買等の営業畑を経て、本店投資調査室に勤務しました。

昭和44年(1969年)、当時、お客様であった社長さんから、誘われて、総鉄商事というところに入社しました。

三菱製鋼の協力会社として、スクラップの納入、坑内作業、また、電気炉から発生する鉞さい(ノロ)の処理等に携わりました。以後、私が、鉄スクラップ及び廃自動車処理後のダスト、所謂、カーシュレッダーダストの処理等に関わりを持つ切っ掛けとなりました。

その後、産業廃棄物中間処理(破碎)施設(千葉県)、最終処分場(埋立)場(仙台市)の建設の参画。

また、日米の外交問題までに発展した米軍厚木基地への、隣接する産廃業者の焼却炉から排出される煙のダイオキシン問題にも関わりを持ちました。

この、日米の攻防の中での最終段階でありましたが、新しい設備を納入するという立場から、当時、六本木にあった防衛庁で、国との交渉に参加させて頂いたことは、私にとって、大変、貴重な経験でありま



した。

これも、そんなに無い経験でありましたので、会議の様子などについて、お話しします。

アメリカとの関わりからか、主催は当時の外務省アメリカ局、司会、取りまとめ役、はアメリカ局長、両脇には環境庁ほか、関連する各省の代表、後ろには、各省の職員が30名位が座っておりました。

後ろで、一言も発することもなく、ひたすら、メモを取っていたのが、印象的でした。

国側のコンサルタントは、日本工営という会社であったと記憶しております。

そこで、こちらから提出した見積もりの妥当性について、国のコンサルタントを介して、検討が行われたのです。

本題からは離れますが、後ろに並んだ職員と、際だっていたのはアメリカ局長でした。

背は高く、スマートで、スーツは高価なダブルといった如何にもエリート外交官といった感じでした。

議論の末、所謂、合意に達したのですが、そこで先のアメリカ局長なる人が、両袖に座っている各省庁の人達に向かって、「以上、会議の結果はご案内の通りです、各省庁の皆様には、ご承知おき頂きたい」で幕。

他の出席者からは、一言の言葉もありませんでした。

翌朝のテレビで、昨日、厚木基地のダイオキシン問題で、国と民間業者との間で合意したこと、正に、その会議に参加をしていた訳ですが、そのことについて、朝の閣議で、所謂、閣議決定がなされたこと、そして、急遽、日本の総理がその決定を持って、アメリカに飛んだことなどが、報じられました。驚きました。

僅かながら、国が、物事を決めていく流れなど、実際に、垣間見ることが出来ました。

平成15年、長岡の豊和商事に入社、上記事業に加え、家電の処理に関わり、平成20年、同社を退社しました。

平成20年7月、現在の株式会社メタル三條を設立、今日に至ります。

## 趣味

趣味は、ご案内のとおり、下手なゴルフと、旅行、読書、ワイン、車、カメラ、映画鑑賞等、多種多様です。

ゴルフについては、5年以上、休んでいたいましたが、3年前に再開しました。

平成20年、長岡のクラブに入り、最初に頂いたハンデキャップは、屈辱の39でありました、空白は大きかったです。現在は、32です。

幸い、新潟県では、75歳を迎えたメンバーには、県内37クラブ全てで、メンバー並みのプレーが出来る

という特典があるという事で、大変楽しみしていたところ、先々週、そのカードが送られてきました。今年、30を切るべく、頑張るつもりです。

旅行のうち、海外旅行については、娘の駐在先を宿としてその周辺国を周ることを常とし、楽しんでおりますが、今まで、回った国は、20ヶ国以上にはなりません。

一番は、スイスでした。

アルプス山脈に聳え立つ4,000m級のマターホルン、ユングフラウ、ともに、登山鉄道で近くまで行きましたが、世界で最も高い位置（海拔3,454m）にあるユングフラウ・ヨッホ駅が、1912年（大正元年）には完成していたと聞き、驚きました。

社会人になって間もなく、登ったこともある北アルプスにある穂高岳が、標高3,190mですから、その高さには驚かされます。

当時、山頂まで、といった壮大な計画もあったそうですが、資金の問題と、観光客の高山病への心配から、断念したとのことでした。

又、東のサンモリッツから西のツエルマツトを結ぶ、世界で最も遅いといわれる氷河特急の旅は、正に、スイスのど真ん中を旅する感じで、最高でした。

先週、明田川幹事さんが、メーキャップにお見えになったとき、実は、三条クラブさんでの卓話には、苦勞をしておりますと話しましたら、今日の挨拶であったメキシコのような、海外の話などされたらとの助言を頂きました。

それに甘えて、皆さんが余り行かれてないであろうところのを、思い出すままに、お話をしてみたいと思います。

最初は、イギリス領、ヴァージン諸島です。

プエルトリコからは、小型機、ボートと乗り継いで行く、カリブ海に浮かぶ本当にきれいな島です。

シュガーサンドの浜辺に、澄んだブルーの海の水、桟橋の上で、ボートを迎え、巧みに歓迎の踊りを踊る少年。誰もいない、自分たちだけの贅沢な海水浴場。

そこは、別世界でした。

次は、アフリカ、ヨハネスブルクです。

南アフリカ共和国の首都、ヨハネスブルクからは、サバンナ、ケープタウン、普段は、経験の出来ない世界でした。

朝の4時、弱い動物を襲う、猛獣たちの食事時間にあわせて、ジープで走る草原は、やはり爽快というか、凄いものでした。

ケープタウン、インド洋と大西洋がぶつかりあう喜望峰からの眺め、朝の、テーブルマウンテンの美しさはなかなかのものでした。



喜望峰から、海を臨むと、そこには多くの漁船が見えます。

聞けば、嵐で遭難、沈没した多くの船が、格好の漁礁となり、船が集まって来るのだそうです。

そして、ワイン、大きな伊勢海老？といった新鮮な魚介類も美味しかったです。

何よりも嬉しかったのは、私が、馬に乗っていたことを知っている娘が、リピザ-ナ行きを、前もって、計画してくれていた事です。

馬達を、戦火から避け、逃れるため、安全な南アフリカに連れてきた場所です。

ウイーンとかスペインの華麗な乗馬学校そのものがリピザ-ナにはあるのです。

昼休みには、馬房へ行くことが出来、先ほど、演技を披露した馬達と、直接、触れ合うことが出来るのです。本当に、驚きましたし、感動したものです。

次は、西オーストラリア州、パースです。

実に、美しい街、特に夜景が美しい街なのですが、南半球最大といわれるカジノ、その規模というより、何よりも驚かされたのは、ゲームテーブルに群がる人だかりの中に、というよりも、肩を寄せ合うことになった、アボリジニの人たちで、忘れることが出来ません。

それから、フリーマントルの旧フリーマントル刑務所です。

フリーマントルは、アメリカ以外で、初めてアメリカズカップが開かれた地としても、知られておりますが、20年前位まで実際に使用されていた、所謂、監獄は、独居房は勿論、その全てを見ることが出来るのですが、絞首刑が行われていた現場、刑場の生々しさには、さすがに胸がつまり、ホテルに戻っても、食事が進まないほどでした。

最後に、カンタベリーです。

カンタベリー大聖堂は、イギリス国教会の総本山といわれております。

約1,000年前に建てられたその建物の荘厳さには、これぞイギリスの感がありました。

大聖堂は、ユネスコの世界遺産に登録されていることでも知られております。

その日は、みぞれ交じりの冷たい雨が降り、ヨーロッパ特有の底冷えのする日でありました。

次の日のパリに向かうユーロスターの中で、完全にダウンしました。

日本と、英国との温度差にやられてしまったのです。

翌日、かろうじて、ベルサイユ宮殿、ルーブル美術館等何か所には行きましたが、折角、予約してくれていたレストランは、子供達だけ、寂しく、ホテルで

ということも、忘れられない旅の思い出とはなりません。

## 信 条

「生涯、現役であること。」

そして、「Only One」で、有り続けることです。

昭和44年（西暦1969年）、公害国会といわれた45年秋の1年前、廃棄物処理に関わりを持って以来42年間、一貫して、生業としてきたことについて、その要した日数、経験等から、誰にも真似の出来ない「Only One」であり続けたいと願っています。

属する業界にあって、更に、専門の知識を磨くなど、研鑽を重ねることは、ロータリアンとしての職業奉仕の精神、生き方に叶うものと信じ、その知識を活かし、今後とも社会に奉仕していきたいと考えております。次世代に、環境の負荷を残さない。

そのために、何が出来るかをも、考えていきたいと思えます。

信条とか、難しい話は別として、お陰様で、こうして元気に過ごすことが出来ていることについて考えてみますと、何よりも、よく食べます、焼き肉などは月に2～3回くらいのピッチです。

次に、よく寝ます、平均で約7時間、夜中に目が覚めるという事は殆ど、ありません。

そして、常に、若い人たちと話し合うようにしております。

運動も欠かしません、雪が解ければ、毎日、信濃川沿いの土手を散歩し、週一、位のペースでゴルフをします。

新聞は、よく読みますし、朝日新聞の天声人語は、必ず読みます。

土曜日の新聞は、特に、楽しみで、数独、クロスワード等に挑戦します。

全て解けると、ああまだ呆けてないな、なんて一人で満足しております。

何事にも、興味を示します。

美しい女性を見ては、果たせぬ恋心を抱き続けるのも長生きの秘訣かも知れません。

そして、今日のあることに、感謝しております。

## 現在の仕事について

私の会社は、(株)メタル三條と申します。

栄町にあります。

当社は、主として、工場、建設現場から発生する鉄スクラップ等を回収し、加工し、直接、地元電炉メーカー等に納入するなどの仕事を行っております。

お陰様で、仕事を始めて、3年近くになります、と



いうか、3年しか経っていない、本当に、若い会社であります。

設立は、平成20年7月11日、実際に商売を始めたのは、その年の12月1日であります。

スクラップ市況は、どん底、正に、その日その月からの出発となりました。

標準的な鋼種で、同年7月末にトン当たり6万円したスクラップ価格は、8月には3万円以上の急落、9月、一時、小康状態を保つも、米国リーマンショック、世界同時不況の影響をもろに受け、10月には、再び3万円の急落、殆ど値を消して仕舞いました。

ドライ粉（切り粉）に関しては、一時、逆有償となり、逆にお客様からお金を頂くといった、実際には、産業廃棄物並みの扱いということになったことは、皆様のご記憶に新しいところでもあります。

わが社の、どん底での出発は、幸いというか、不良資産（在庫）0という状態での出発ということでもありました。

業務を開始した翌年の5月には、地元三星金属工業様から、「直納問屋」としてお認めを頂くなど、皆様の温かいご支援、ご協力のお陰で、今日まで、何とか、仕事を続けさせて頂いております。

少数精鋭、信頼とフットワークを社是とし、これからも頑張っていきたいと思っております。

「大河は、小河を拒まず」そして大きくなる、ということを肝に銘じ、例えば100kgのお客様でも、誠心誠意、フットワークを効かせ、対応、頑張っているところでもあります。

仕事上、現在の市況等について、若干、触れて参りたいと思っております。

こここのところ、国内電炉メーカーによるスクラップの購入も積極化するするなど、国内スクラップ需要量が増加する傾向にあるなか、スクラップの発生は依然として低調、市況には、引き締め感があります。

一方、欧米の輸出先であるトルコを始めとした中東地域の政情不安等の影響もあって、軟化傾向にあり、目先、若干の調整期に入ったと思われれます。

直近では、早やくも、地震の影響も出ております。

輸入先である中国等からは、放射能汚染が懸念され始めているというニュースです。

今月9日行われた関東鉄源の輸出向け入札価格は、FASベース、前月比745円安のトン当たり37,239円と2ヶ月連続でし下落しました。

ここでの入札価格は、落札分の輸出が、実際には、次月に行われることで、国内相場の先行き指標として、位置づけられているものです。

又、日本がアジア最大の鉄スクラップ輸出国であることから、海外での注目度も高いものです。

然し乍ら、下落は一時的なもので、世界的に鉄鋼需要は強く、長期的には再び、強基調に転じるとの見方が一般的です。

今月3日、商工会議所鉄鋼部会主催の講演でも、新日鉄の宮木新潟支店長も私見としながらも、鉄鉱石、原料炭とも更に上昇が見込まれ、鉄スクラップに関しては、今後、5万円まで上伸する可能性もあると云っておられました。

何れにしましても、市況の予測というものは、大変、難しいもので、解説は、結果論的なものが多く、その動きは、グラフで追うのが一番です。

お配りしたグラフから、大まかに言って、鉄スクラップについては、20年7月の高値のほぼ、半値戻しの水準にあることが見て取れますし、銅などは、ほぼ9割くらい、値を戻していることが分かります。

何れにしましても、20年11月に市況の底をついてから、上下運動を繰り返す過程で、底値が切りあがってきているのを見て取れ、長期的には、上昇トレンドを描くものと思われれます。

当社の紹介には、別紙、パンフレット※が御座いますので、ご参照頂ければ幸いです。

予算の無いなか、社員が手作りした簡単なものです。宜しく、お願いをするものであります。

## 終わりに

最後になりましたが、冒頭、申し上げた通り、私の話は、皆様にとっては、何も、お役に立たない、専ら、自己中心の話とはなって仕舞いました。

今回の卓話へのお誘いは、私にとって、75年間の人生をを振り返るには、またと無い、機会となりました。

心から、感謝しております。

ロータリアンの皆様始め、地元三条の皆様には日頃、大変親しくお付き合いをさせて頂き、無縁社会とは無縁の楽しい、幸せな毎日を送らせて頂いておりますことに、心から、感謝申し上げます、本日の雑駁な私の卓話を終わらせて頂きます。

ご清聴、有難うございました。

※パンフレットは三条RC事務局にございますのでご希望の方はお申し付けください。



# 4月の行事予定

三条ロータリークラブ例会日

| 日    | 月   | 火   | 水  | 木   | 金          | 土   |
|------|---|---|--|---|------------|---|
| 3/27 | 28<br>◆三条南RC<br>「温故知新／<br>歴代会長卓話」<br>野島廣一郎 会員 | 29<br>◆三条北RC<br>クラブ休会<br>(記帳できます)   | 30<br>◆三条RC<br>クラブ休会   | 31<br>◆三条東RC<br>「PETS報告会」<br>石田大介<br>会長エレクト | 4/1        | 2   |
| 3    | 4<br>◆三条南RC<br>「雑誌月間」<br>齋藤嘉一<br>クラブ会報委員長     | 5<br>◆三条北RC<br>「雑誌月間」<br>担当 雑誌委員会   | 6<br>◆三条RC<br>「PETS報告」<br>山田富義<br>会長エレクト                                   | 7<br>◆三条東RC<br>会員卓話<br>横山惣治 会員              | 8          | 9   |
| 10   | 11<br>◆三条南RC<br>会員卓話<br>高橋祐介 会員               | 12<br>◆三条北RC<br>外部卓話<br>国際ライラ<br>2550地区代表<br>藤田雅美 様                                 | 13<br>◆三条RC<br>夜例会「観桜例会」<br>於 高田公園～<br>デューオーセレツソ<br>16:00市役所出発<br>(記帳できます) | 14<br>◆三条東RC<br>夜例会「観桜会」<br>(記帳できます)        | 15         | 16  |
| 17   | 18<br>◆三条南RC<br>会員卓話<br>丸山徹夫 会員               | 19<br>◆三条北RC<br>移動例会<br>NPO日本フットセラピスト<br>協会トレーナー<br>石田まり子 様<br>於 三条東公民館<br>(記帳できます) | 20<br>◆三条RC<br><del>外部卓話</del><br><del>三条南RC会長</del><br>太溪秀夫 様             | 21<br>◆三条東RC<br>会員卓話<br>長谷川博一 会員            | 22         | 23<br>◆三条北RC<br>社会奉仕事業<br>「黒川伊保子<br>講演会」<br>13:30～<br>於 中央公民館 |
| 24   | 25<br>◆三条南RC<br>三条RC会長<br>樺山 仁 様              | 26<br>◆三条北RC<br>例会日変更<br>23日(土)<br>「社会奉仕事業」<br>と振替<br>(記帳できます)                      | 27<br>◆三条RC<br>「雑誌月間」<br>阿部吉弘<br>雑誌委員長                                     | 28<br>◆三条東RC<br>会員卓話(予定)                    | 29<br>昭和の日 | 30  |

※近隣RC例会変更のお知らせ！(記帳できます)

- 加茂RC 4月14日(木) 夜例会
- 吉田RC 15日(金) 夜例会 (例会日変更)
- 分水RC 19日(火) 夜例会 (例会日変更)
- 燕RC 21日(木) 夜例会 (例会日変更)

記帳場所

- 加茂市産業センター
- 山岸会計事務所
- だいえいビジネスサービス(株)内
- 燕三条ワシントンホテル

※3月31日(木) 燕RC記帳の予定でしたが、夜例会から通常例会に変更になりましたので、記帳は出来ません。お間違のないようお願い致します。

次週例会 3月30日 **クラブ休会**

次々週例会 4月6日 「PETS報告」  
山田富義 会長エレクト

